

## 【表紙】

【提出書類】	半期報告書の訂正報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成19年2月5日
【中間会計期間】	第138期中（自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日）
【会社名】	東京急行電鉄株式会社
【英訳名】	TOKYU CORPORATION
【代表者の役職氏名】	取締役社長 越村 敏昭
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区南平台町5番6号
【電話番号】	(03) 3477-6168番
【事務連絡者氏名】	財務戦略室 主計部 連結・IR担当課長 松本 泰郎
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区南平台町5番6号
【電話番号】	(03) 3477-6168番
【事務連絡者氏名】	財務戦略室 主計部 連結・IR担当課長 松本 泰郎
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1【半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成18年12月25日に提出いたしました第138期中（自平成18年4月1日至平成18年9月30日）半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、証券取引法第24条の5第5項に基づき半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

## 2【訂正事項】

- 第一部 企業情報
- 第2 事業の状況
  - 1 業績等の概要
    - (1) 業績
      - ① 交通事業

## 3【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_を付して表示しております。

## 第一部【企業情報】

### 第2【事業の状況】

#### 1【業績等の概要】

- (1) 業績
    - ① 交通事業
- (訂正前)

鉄軌道業では、「安全」がすべての事業の根幹であると位置づけており、「安全」に関して、業務手順の見直しや新たな設備投資による安全の確保など、ソフト・ハード両面からさまざまな手段を講じてまいりました。本年7月には目黒線不動前～洗足間地下化切り替え工事、9月には東横線武蔵小杉～日吉間高架化切り替え工事を実施いたしました。

サービス面におきましては、9月に実施したダイヤ改正において新たに目黒線で急行運転を開始することで目黒線の最短所要時間および東横線の特急・急行の日中所要時間を短縮したほか、世田谷線では、土休日の日中時間帯に列車を増発いたしました。

当社の鉄軌道業の営業成績は、沿線人口の増加およびネットワーク効果により、当中間連結会計期間の輸送人員は前年同期に比べて定期外で1.7%、定期で2.1%とそれぞれ増加し、全体では1.9%増加の513,344千人となりました。連結子会社では、伊豆急行(株)の輸送人員は2,895千人（前年同期比1.3%増）、上田電鉄(株)の輸送人員は651千人（同0.4%増）となりました。

<後略>

(訂正後)

鉄軌道業では、「安全」がすべての事業の根幹であると位置づけており、「安全」に関して、業務手順の見直しや新たな設備投資による安全の確保など、ソフト・ハード両面からさまざまな手段を講じてまいりました。本年7月には目黒線不動前～洗足間地下化切り替え工事、9月には東横線武蔵小杉～日吉間高架化切り替え工事を実施いたしました。

サービス面におきましては、9月に実施したダイヤ改正において新たに目黒線で急行運転を開始することで目黒線の最短所要時間および東横線の特急・急行の日中所要時間を短縮したほか、世田谷線では、土休日の日中時間帯に列車を増発いたしました。

当社の鉄軌道業の営業成績は、沿線人口の増加およびネットワーク効果により、当中間連結会計期間の輸送人員は前年同期に比べて定期外で1.7%、定期で2.1%とそれぞれ増加し、全体では1.9%増加の513,344千人となりました。連結子会社では、伊豆急行(株)の輸送人員は2,895千人（前年同期比2.4%増）、上田電鉄(株)の輸送人員は651千人（同0.4%増）となりました。

<後略>

以上